

「家族ふれあいグラウンドゴルフ大会」  
～集客に失敗しても、あきらめず実行する意義～  
(古殿スポーツクラブ(仮称) 福島県古殿町)

### 1. 事業の全体概要

古殿スポーツクラブ(仮称・以下古殿SC)は、生涯スポーツ健康活動の振興を目的に、世代間交流と重ね広く地域より参加者を募り「家族ふれあいグラウンドゴルフ大会」をお試し(プレ)事業として開催しました。主な参加対象者は、古殿町内の小学生、中学生、その両親、祖父母です。チーム3人の中に、必ず小・中学生1名以上入れることをルールとしました。

この企画を実行するに至ったのは、前年度、創設支援事業のプレ事業として「親子ふれあいグラウンドゴルフ大会」を開催した際に、参加者から好評を得たからです。「来年度こそがんばる」という声もあったため、イベントとして定着させるために開催を決定しました。今年度は世帯間(家族間)の交流を図るねらいがありました。

大会に必要な用具は、前年度創設支援事業予算で購入したものを利用できました。広報活動は、チラシを作成し各地区区長に協力で全戸配布を行いました。猛暑の影響や町内各行事と重なったこと、時期的に夏休み終了後であったことなどで、一般の応募はほぼなかったのが現状でした。チラシ配布から参加申込み期限まで短期間のうえ、特別な目玉もなかったせいか、口コミの効果もでませんでした。スポーツ活動だけではなく、イベント的な要素も必要だったと反省しています。

しかし、狙いであった地域住民の一般参加はかなわなかったものの、家族で参加することを目的としたプレ事業に運営委員や準備委員の方々が家族と共に参加したことで、家族でスポーツをする機会がなかった方が、家族一緒にスポーツをする良さを体験することができ、改めてクラブをやっていく必要性の実感や意義の再確認をする機会になりました。



組織をつくるのは人です。人が変われば組織も変わるものだと思います。これから設立に向けて細かいところまで話し合いながらつめていく段階において、とても重要な経験になりました。

### 2. 成功のポイント ～行って初めてわかることがある～

成功のポイントはプレ事業の目的・位置付けを明確にし、集客がうまくいかなかったことで事業を中止しなかったことです。

古殿SCでは、参加者も集まらず一時は中止も検討しましたが、最終的に運営委員等も加わり開催しようということになりました。その成果は前述の通りですが、プレ事業を行う目的、それは行って初めてわかることがあります。参加する側(地域住民)にとってもそうですし、運営する側(運営スタッフ、指導者、クラブマネジャー)や経営する側(代表、会計、クラブマネジャー)にとってもそうです。行って初めてわかるスポーツの楽しさがあり、また行って初めてわかる運営・経営の難しさがあると思います。

プレ事業に関わらず、総合型クラブが行う事業は目的を明確にする必要があります。なぜなら、総合型クラブは理念を掲げ、理念達成に向けて様々な事業を展開していくからです。また、会費の設定方法はクラブによって様々ですが、基本的には理念に賛同した上でいただいているお金が会費です。それを活用し行う事業の内容は、会員が納得するものでなければなりません。助成金・補助金についても同様で、公金を活用するということはその用途については責任が伴います。



成功と失敗の線引きも目的、さらには理念による線引きがなされるべきです。創設準備期間におけるプレ事業は、クラブ外に対しては地域住民への総合型クラブそのものや事業内容について啓発・周知すること、それに伴い参加者や協力者を募ることなどが目的としてあります。クラブ内においては、運営のノウハウを学び運営体制を整備すること、経営していくための広報活動や人材・用具・施設の確保、収支の計算など、さらにはリスクマネジメントや各種判断の経験をし、組織体制を整備することなどが目的として考えられます。

プレ事業を行った結果を「成功」か「失敗」と捉えるのではなく、「成功」か「学習」と捉えてはいかがでしょうか。うまくいったことはより良いかたちに発展させなければ次回も参加していただけるかわかりませんし、うまくいかなかったことは反省し次回に活かしていくことで事業の質が高まり、予想以上の参加人数の増加や参加世代の拡大につながるかもしれません。結果が成功か学習ならば、行えば得しかないですし、行わなければ損です。助成金等を活用すれば資金面のリスクはないわけですから、積極的に実施し多くの「失敗」＝「学習」経験をされることをお勧めします。その経験が、設立後のクラブの礎になります。

**(海老根 慧 福島県クラブ育成アドバイザー)**

### < 古殿スポーツクラブ(仮称)プロフィール >

1. 設立：平成 23 年 2 月 13 日(予定)

日本体育協会が実施する創設支援事業を 2 年間受けながら準備を進めている。

2. 地域 人口：6,077 人 特性：600m～700m 級の山々に囲まれた自然豊かな土地

3. クラブ：FULL SPO

(古殿町の「古(ふる)」と、「full」(いっぱい・最大限の・豊富な・・・)をかけ、呼びやすい、覚えやすいかたちにするためスポーツ(sport)も省略している。豊富な活動種目があり、子どもから高齢者まで多世代が参加し、笑顔があふれ、夢がいっぱい詰まった、そんなクラブを目指す。)

特徴：行政の支援、町内の各種スポーツ関係団体の協力を得ながら、体育指導委員や一般地域住民が中心となって設立の準備を進めている。

4. 連絡先 〒963-8304 福島県石川郡古殿町大字松川字横川 235

TEL：0247-53-2305(古殿町公民館内)

関連リンク：海老根慧氏プロフィール

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/7.html>